

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **11110511 A**

(43) Date of publication of application: **23 . 04 . 99**

(51) Int. Cl.

G06K 19/08
G06K 7/00
G06K 19/00
G09F 1/02

(21) Application number: **09271019**

(71) Applicant: **NET TEIMENTO:KK**

(22) Date of filing: **03 . 10 . 97**

(72) Inventor: **KUTSUZAWA TORU**

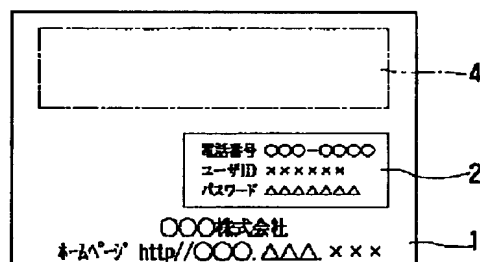
**(54) CARD-TYPE INFORMATION RECORDING
DEVICE**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a card-type information recording device which can effectively use a credit card and the like even for a purpose other than the original purpose of the card.

SOLUTION: This card-type information recording device is provided with an area 2 for recording a telephone number for internet connection, user ID, and a password on the surface or the back of a telephone card 1. An area 4 displaying an illustration for advertisement is provided adjacent to the area 2. Information on an advertisement content in the area 4 is printed on the area 2, for example. Thus, a customer who is interested in the advertisement content in the area 4 views a home page in accordance with information of the area 2 and it is not necessary to send detailed catalogues to multiple persons. Consequently, efficient advertisement can be made at small advertisement cost.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-110511

(43)公開日 平成11年(1999) 4月23日

(51)Int.Cl.⁹

識別記号

F I

G 0 6 K 19/08

G 0 6 K 19/00

F

7/00

7/00

U

19/00

G 0 9 F 1/02

E

G 0 9 F 1/02

G 0 6 K 19/00

Q

審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全 5 頁)

(21)出願番号

特願平9-271019

(71)出願人 597140327

株式会社ネットテイメント

東京都港区東新橋 2-6-3

(22)出願日

平成9年(1997)10月3日

(72)発明者 香 澤 徹

東京都港区東新橋 2-6-3 株式会社ネ
ットテイメント内

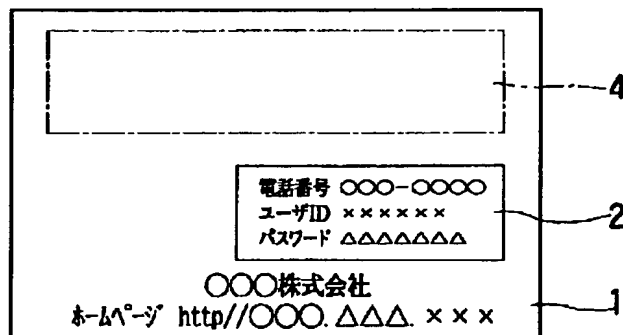
(74)代理人 弁理士 佐藤 一雄 (外3名)

(54)【発明の名称】 カード型情報記録装置

(57)【要約】

【課題】 クレジットカード等を、カード本来の目的以外でも有効利用できるようにしたカード型情報記録装置を提供する。

【解決手段】 本発明のカード型情報記録装置は、テレホンカード1を媒体として、テレホンカード1の表側あるいは裏側の面に、インターネット接続用電話番号、ユーザーID、およびパスワードを記録する領域2を設けたものである。領域2に隣接して、広告宣伝用のイラスト等が表示される領域4が設けられ、例えば、領域2には、領域4内の広告宣伝内容に関する情報が印字される。このようにすれば、領域4内の広告内容に関心を持った顧客のみが、領域2の情報に従って、ホームページを見ることになり、不特定多数の人に、詳細なカタログを送付しなくて済むため、少額の広告宣伝費用で、効率的な広告宣伝を行えるようになる。





【特許請求の範囲】

【請求項1】クレジットカード、キャッシュカード、プリペイドカード、自己を証明する認証カード、およびLSIを内蔵したICカードの少なくとも一つを対象とし、前記対象となるカードの表側および裏側の面の少なくとも一方に、カード本来の目的以外の情報を記録する少なくとも一つの領域を設け、前記対象となるカードを、カード本来の目的として利用でき、かつ、前記領域内に記録された情報に関する利用もできるようにしたことを特徴とするカード型情報記録装置。

【請求項2】前記情報は、インターネットへの接続を仲介するサーバーの電話番号、前記サーバーのDNSサーバー名、前記サーバーのIPアドレス、前記サーバーにアクセスするのに必要なユーザーID、前記ユーザーIDを有効とするパスワード、およびインターネットの接続先ホームページのURLアドレスの少なくとも一つを含むことを特徴とする請求項1に記載のカード型情報記録装置。

【請求項3】前記情報は、電子メールの送受信を仲介するサーバーの電話番号、前記サーバーにアクセスするためのユーザーID、前記ユーザーIDを有効とするパスワード、および電子メールの送信先のE-mailアドレスの少なくとも一つを含むことを特徴とする請求項1に記載のカード型情報記録装置。

【請求項4】前記情報は、視覚的に把握可能な絵文字情報、光学的に検知可能な光学パターン情報、磁気情報、電気信号、および電波信号のいずれかの形態で、前記領域に記録されることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載のカード型情報記録装置。

【請求項5】テレホンカードの表側および裏側の面の少なくとも一方に、インターネットへの接続または電子メールの送受信を仲介するサーバーの電話番号、前記サーバーにアクセスするのに必要なユーザーID、前記ユーザーIDを有効とするパスワードを記録する領域を設けたことを特徴とするカード型情報記録装置。

【請求項6】前記領域が設けられる面に、インターネットの接続先または電子メールの送信先のE-mailアドレスを記録する領域を設けたことを特徴とする請求項5に記載のカード型情報記録装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、プリペイドカードやクレジットカード等の名刺大の各種カードを利用して各種の情報の提供を行うカード型情報記録装置に関する。

【0002】

【従来の技術】パーソナルコンピュータ（以下、パソコンと呼ぶ）の普及に伴って、インターネットを介して、各種の商品やサービスを提供する例が増えつつある。インターネットに接続するには、プロバイダーと呼ばれる



インターネット接続業者に電話をかけて、目的とする接続先のホームページのURLアドレスを指定する必要がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、インターネット接続業者の電話番号やURLアドレスは、ユーザー自身でキー入力しなければならず、電話番号やURLアドレスを忘れたり、入力すべきキーを押す間違えたりすると、インターネットに接続できなくなってしまう。また、URLアドレスは文字数が多いため、キー入力にも時間がかかり、目的のホームページを即座に表示できないという問題もある。

【0004】インターネット接続用のブラウザソフトの中には、ユーザーが頻繁にアクセスするURLアドレスを登録しておき、登録されたURLアドレスを、マウス等で即座に呼び出せるようにしたものもあるが、URLアドレスの登録手続は、ユーザー自身で行わなければならないと、呼び出すのに時間がかかってしまう。

【0005】一方、テレホンカード上の空きスペースを利用して、各種の商品やサービスの広告宣伝を行う例が最近増えてきた。ところが、テレホンカードは名刺サイズの大きさしかないため、商品等の詳しい説明を行うことはスペース的に困難で、広告宣伝の効果があまり上がっていないのが現状である。

【0006】本発明は、このような点に鑑みてなされたものであり、その目的は、プリペイドカードやクレジットカード等を、カード本来の目的以外、例えばデータ通信などに有効利用できるようにしたカード型情報記録装置を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】上述した課題を解決するために、請求項1の発明は、クレジットカード、キャッシュカード、プリペイドカード、自己を証明する認証カード、およびLSIを内蔵したICカードの少なくとも一つを対象とし、前記対象となるカードの表側および裏側の面の少なくとも一方に、カード本来の目的以外の情報を記録する少なくとも一つの領域を設け、前記対象となるカードを、カード本来の目的として利用でき、かつ、前記領域内に記録された情報に関する利用もできるようにしたものである。

【0008】前記情報は、インターネットへの接続を仲介するサーバーの電話番号、前記サーバーのDNSサーバー名、前記サーバーのIPアドレス、前記サーバーにアクセスするのに必要なユーザーID、前記ユーザーIDを有効とするパスワード、およびインターネットの接続先ホームページのURLアドレスの少なくとも一つを含む。

【0009】あるいは、前記情報は、電子メールの送受信を仲介するサーバーの電話番号、前記サーバーにアク

セスするためのユーザーID、前記ユーザーIDを有効とするパスワード、および電子メールの送信先のE-mailアドレスの少なくとも一つを含む。

【0010】また、前記情報は、視覚的に把握可能な絵文字情報、光学的に検知可能な光学パターン情報、磁気情報、電気信号、および電波信号のいずれかの形態で、前記領域に記録される。

【0011】また、請求項5の発明は、テレホンカードの表側および裏側の面の少なくとも一方に、インターネットへの接続または電子メールの送受信を仲介するサーバーの電話番号、前記サーバーにアクセスするのに必要なユーザーID、前記ユーザーIDを有効とするパスワードを記録する領域を設けたものである。

【0012】前記領域が設けられる面に、インターネットの接続先または電子メールの送信先のE-mailアドレスを記録する領域を設けている。

【0013】

【発明の実施の形態】以下、本発明を適用したカード型情報記録装置について、図面を参照しながら具体的に説明する。

【0014】〔第1の実施形態〕図1は本発明に係るカード型情報記録装置の第1の実施形態の平面図である。図1の記録装置は、公衆電話で利用可能なテレホンカード1を媒体として用い、テレホンカード1の表側あるいは裏側の面に、インターネット接続用電話番号、ユーザーID、およびパスワードを記録する領域2を設けたものである。この領域2には、特定の情報が英数字で印字される。

【0015】ただし、領域2内に記録される情報の種類に特に制限はなく、図1はその一例にすぎない。例えば、図2は、領域2の下に、E-mailアドレスを印字する領域3を設けたものである。最近では、電子メールをビジネスに利用する機会が増え、電子メールを介して、注文を受けたり、各種のビジネス情報の提供を受けることが多くなってきたため、例えば、景品として図1、2のテレホンカードを顧客に渡す際に、セールスマン等が自己のE-mailアドレスを領域3に記載すれば、顧客からの問い合わせや注文等を、電子メールで受け取ることができる、営業活動を効率的に行うことができる。

【0016】また、図1、2に示すテレホンカードは、領域2に隣接する位置に、広告宣伝を行うための領域4を備えており、この領域4内には、商品やサービス等の広告宣伝用のイラストや文字等が表示される。

【0017】図1、2のテレホンカードを営業の販促用として利用する場合には、領域4内の広告宣伝内容に関連する情報を、領域2、3に印字するのが望ましい。例えば、領域4に、ある製品の広告を表示する場合には、その製品の詳しい情報が提供されるインターネットのホームページのURLアドレスや、インターネットへの接続を仲介するサーバーの電話番号や、サーバーにアクセ

スするのに必要なユーザーIDや、ユーザーIDを有効にするためのパスワード等を、領域2、3に印字すればよい。このようにすれば、領域4内の広告内容に関心を持った顧客のみが、領域2、3の情報に基づいて、ホームページを見るため、不特定多数の人に、詳細なカタログを送付する必要がなくなり、少額の広告宣伝費用で、効率的な広告宣伝を行うことができる。

【0018】また、最近では、データ通信が可能な公衆電話も広く普及しており、このような公衆電話を利用すれば、本実施形態のテレホンカードを用いて、テレホンカードに印字された電話番号に電話をかけることで、ユーザーは電話料金を負担せずに、所望の情報を手にすることができ、また、出先で手軽にデータ通信を行えるようになる。

【0019】なお、図1、2は、インターネットに接続するのに必要な情報をテレホンカード上に印字する例を示しているが、インターネットを介さずにデータ通信を行う場合（以下、パソコン通信と呼ぶ）に必要とされる情報を印字してもよい。例えば、図2の領域2に、パソコン通信のサーバーの電話番号と、ユーザーIDと、パスワードとを印字し、領域3に、相手先のE-mailアドレスを印字しておけば、ユーザーは、手元にあるパソコン等を用いて、領域2、3内の印字情報をキー入力することで、簡易かつ迅速にパソコン通信を行うことができ、接続先の指定を誤るおそれも少なくなる。

【0020】ところで、図1、2では、ホームページのURLアドレスを、領域2、3の下側に表示しているが、URLアドレスを、領域2または領域3に印字してもよい。

【0021】〔第2の実施形態〕第2の実施形態は、テレホンカード上に、インターネットへの接続やパソコン通信に必要な情報を、バーコードの形態で記録するものである。

【0022】図3はカード型情報記録装置の第2の実施形態の平面図である。図3の記録装置は、第1の実施形態と同様に、テレホンカード1を媒体としており、その上面には、バーコード5が貼付、あるいは一体に形成されている。バーコード5は、長さの等しい複数の縦線からなり、各縦線の間隔と縦線の太さを変えることで、種々の情報を記録する。

【0023】バーコード5により記録される情報に特に制限はなく、例えば、図1の領域2と同様に、インターネット接続業者の電話番号や、ユーザーID等などの、カード本来の目的以外の全情報が対象となる。例えば、インターネットの接続先のURLアドレスや、図2の領域3のE-mailアドレスをバーコード5で記録することなどが考えられる。

【0024】バーコード5に記録された情報を、ユーザーが目視で解読することは一般には困難なため、図4に示すようなバーコード・リーダー11を介して、パソコ



ン 1 2 等に読み込む。バーコードリーダー 1 1 は、通常、図 4 のようなペン形状をしており、バーコード 5 に赤外線を照射して、その反射光を検出することにより、バーコードパターンを読み取る。読み取った情報は、デジタルデータに変換されて、シリアルインターフェース等を介して、パソコン 1 2 内部に読み込まれる。

【0025】一方、パソコン 1 2 のハードディスク等には、予めバーコード読み取り用の制御ソフトをインストールしておき、バーコード・リーダー 1 1 から送られたデジタルデータを、元の情報に復号する。復号された情報は、例えば、インターネット用のブラウザソフトに送られ、ユーザーが URL アドレスや電話番号等をキー入力しなくても、バーコード 5 に記録された情報に従って、所望のホームページ等に接続することが可能となる。

【0026】このように、テレホンカード等のバーコード 5 に、インターネット接続やパソコン通信に必要な情報、例えば、電話番号や URL アドレス等を記録しておけば、バーコードリーダー 1 1 により、バーコード 5 の情報を自動的にパソコンに読み込ませることができ、ユーザー自身がキー入力しなくて済むため、使い勝手が向上するとともに、キー入力のミスもなくなり、さらには、インターネットへのアクセスを高速化できる。

【0027】上述した第 1 および第 2 の実施形態では、テレホンカードを媒体とする例を説明したが、本発明は、テレホンカード以外の各種プリペイドカードや、クレジットカードや、特定の組織や団体などにおける自己を証明する認証カード（会員カード）や、LSI を内蔵した IC カードや、定期券や、名刺など、各種のカードを媒体として利用することができる。あるいは、プリペイドカードに近い形態のデジタルキャッシュカードを媒体として利用し、デジタルキャッシュカード内の LSI メモリに、図 1、2 の領域 2、3 に印字されるような各種の情報を記録してもよい。

【0028】また、カード内のどこに情報を記録してもかまわない。例えば、カードの表側の面だけ、あるいは、裏側の面だけ、あるいは、両方の面に、情報を記録してもよい。また、カードの複数箇所に、それぞれ異なる情報を記録してもよい。

【0029】また、カードに記録する情報の内容も、第 1 および第 2 の実施形態に示したものに限定されない。例えば、インターネット接続業者の DNS サーバー名や IP アドレス、宝くじ等の当選番号、カードの有効期限情報やカードの利用時間情報など、カード本来の目的以外の情報であれば、特に情報の種類は問わない。

【0030】さらに、情報の記録形態も、第 1 の実施形態のような文字情報や、第 2 の実施形態のようなバーコードだけでなく、キャッシュカードなどで用いられている磁気情報など、種々の形態が対象となる。例えば、定



* 期券などで導入が検討されている電波方式により、各種の情報を転送してもよく、あるいは、カード表面に電気的な接触子を設けて、この接触子に、各種の情報に応じた電圧を供給し、外部の探触子により、接触子の電圧を検出して、情報の復号を行ってもよい。また、グリフコードにより情報を記録してもよい。

【0031】図 5 はグリフコードの概要を説明する図であり、「SCIENTIFIC AMERICAN」(May 1994 p.114)に開示されているものである。グリフコード 2 1 は、左上がりのスラッシュ 2 2 を例えば「0」とし、右上がりのスラッシュ 2 3 を例えば「1」として、これらスラッシュ 2 1、2 2 を組み合わせることにより、デジタル情報を表現するものである。グリフコード 2 1 は、バーコードよりも、単位面積当たりの情報密度が高く、また、表面の汚れの影響も受けにくい。したがって、インターネット接続用の電話番号やユーザー ID 等の各種情報をグリフコードの形態でテレホンカード等に記録すれば、バーコード 5 に比べて、情報読み取り時のエラーを少なくでき、記録可能な情報量も増やせる。

【0032】

【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明によれば、プリペイドカード等の表側および裏側の面の少なくとも一方に、カード本来の目的以外の情報を記録する領域を設け、カード本来の目的以外にも利用できるようにしたため、カードの利用目的を高めることができ、利便性がよくなる。特に、インターネットに接続するのに必要な情報や、電子メールの送受信に必要な情報をカードに記録しておけば、データ通信を簡易かつ迅速に行えるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】カード型情報記録装置の第 1 の実施形態の平面図。

【図 2】E-mail アドレスを印字する領域を設けたカード型情報記録装置の平面図。

【図 3】カード型情報記録装置の第 2 の実施形態の平面図。

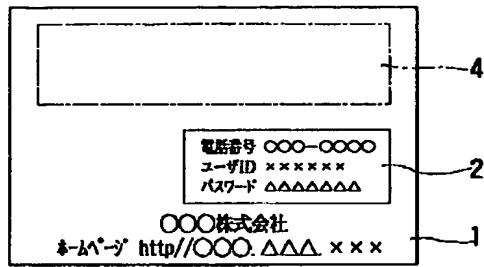
【図 4】バーコードの読み取りを説明する図。

【図 5】グリフコードの概要を説明する図。

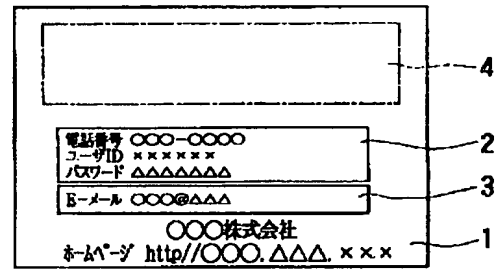
【符号の説明】

- 1 テレホンカード
- 2 インターネット接続用電話番号等が印字される領域
- 3 E-mail アドレスが印字される領域
- 4 広告宣伝のための領域
- 5 バーコード
- 1 1 バーコード・リーダー
- 1 2 パソコン
- 2 1 グリフコード
- 2 2, 2 3 グリフコードを構成するスラッシュ

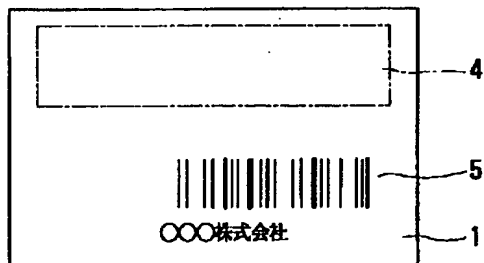
【図1】



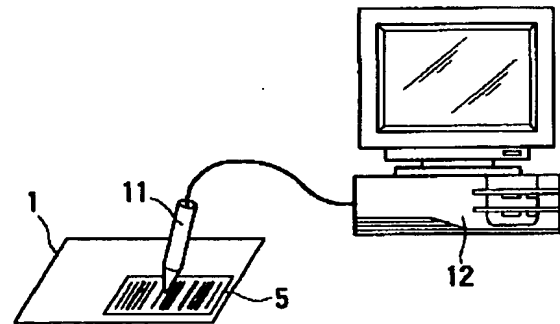
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

